

第9号

新風会だより

発行:平成22年5月

いそざき陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

電話 097(535)8260

<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>

ヨウスケが行く

参議院議員 磯崎陽輔



こんにちは、磯崎陽輔です。通常国会は終盤を迎え、多忙な日々を過ごしています。国会では、党の国会対策副委員長として、現場の指揮を執るとともに、与党との交渉に当たっています。5月から、参議院総務委員会筆頭理事に就任し、委員会運営に苦心しています。党では、引き続き、総務部会長代理を務めるとともに、4月から税制調査会事務局長に着任しました。そのほか、多くのプロジェクトチームの役職に就き、正直、体が幾つあっても足りません。

さて、民主党政権は、混迷を深めてきました。20パーセントを切る内閣支持率が象徴するように、鳩山内閣は、もう後がありません。普天間基地の移転問題では、鳩山総理は「最低でも県外」と言いながら、結局現行案に戻ることになりました。さすがに、マニフェストに逆行する高速道路の値上げだけは、参議院選挙後に先送りしたようです。大分県でも心配されている口蹄疫は、赤松農林水産大臣が連休中長期間国内を留守にしている間に、拡大の一途をたどりました。

鳩山総理の母親からの資金提供問題は、予算委員会で「事件が決着したら用途についての資料を提出する。」と言っていたにもかかわらず、資料提出を拒んでいます。小沢民主党幹事長の資金疑惑も、何ら国民の納得いく説明がなされていません。北教組から裏金をもらって選挙をした小林千代美衆議院議員は、まだ議員辞職していません。

だれも、何も説明せず、何も責任をとろうとはしま

せん。これが民主党政権です。威張って言えることではありませんが、自民政権時代にも、多くの政治と金の問題が起きました。しかし、疑惑の本人に政治倫理審査会に出席させ、予算委員会で参考人招致や証人喚問に応じさせ、離党や議員辞職をきちんとさせてきました。民主党政権の下で、正義が通用しないのには、本当にかく然とします。

今、自民党では、全国で、国民の皆さんとひざ詰めで御意見を伺う「ふるさと対話」を実施しています。私も、既に全国数箇所に出掛け、対話をしてきました。「民主党政権は駄目だけど、自民党ももう少ししっかりしてもらわないとねえ。」という意見が、本当に多いのです。御指摘のとおりだと思います。参議院選挙を前に、党が一丸となつてがんばらなければならない時期に、ベテラン議員が何人も離党するというのは、情けない限りです。谷垣総裁にも、もっと野党党首として力強く戦ってほしいという意見も、たくさん頂きます。

ただ、自民党も、変わっています。私が中心となつて署名を集め、党にシャドーキャビネット(影の内閣)を設置するよう要求していましたが、「ネクストジャパン」という名称で実現し、多くの若手議員が登用されました。また、参議院比例代表区で70歳の定年を遵守するよう私たちが求めていましたが、その動きが全国の選挙区にも波及し、参議院選挙候補者の世代交代が進んでいます。現在のところ、平均年齢が、50歳を割ったのではないのでしょうか。

私は、国会活動や政策活動を地道に続けるとともに、引き続き、党改革にも、中堅・若手議員の中心となつて努力します。「自民党を変える。」それが私の公約です。

参議院議員候補予定者小田原きよしさんが、顔を真っ黒にして、全県を掛け巡って、がんばっています。次の参議院選挙、何としても与野党逆転を果たし、小沢民主党幹事長の独裁政治に歯止めを掛けなければなりません。国民の皆さんが頼りです。よろしく御支援お願い申し上げます。

正義感あふれた政治家 磯崎陽輔先生！

小形 弘



平成19年度の参議院選挙では、与党自民党が惨敗し、安倍総理が内閣改造で刷新を図るも、支持率の低下で退陣しました。当時の厳しい逆風の中の参議院選挙で、「自民党を変える」を公約に掲げ、見事に当選した磯崎陽輔議員については、官僚出身の若い先生ということ以外、御身分・経歴はもちろん、お人柄についても、ほとんど知りませんでした。

翌20年に入り、磯崎議員の東京後援会を設立するに当たり、在京大分県人会の芹川光宏氏からの要請で、発起人にお名前をとのことでお会いするようになりました。自治省や総務省での地方自治の御経験や、幅広い職種を歴任された体験等を伺い、政治家として誠にふさわしい人物であると感じました。また、磯崎議員の母君が、杵築市の御出身で、杵築高校の1年後輩であると知り、一挙にヨウスケ先生のファンとなり、微力ながら東京新風会の一員として努めております。

政権交代により、自民党は野党第一党として、がんばらねばならない時期にもかかわらず、ここにきて自民総崩れか、分裂の危機に直面かと激震が起こり騒がれています。今年の総選挙で、大分県では、すべての小選挙区で議席を失いました。私は、長老の多い自民党の世代交代を期待していますが、当選

6回以上の議員が半数近くを占め、10回以上の議員が10名もいるということを見ると、一概には言えませんが、これで党の改革ができるのかと疑問でなりません。そんな中で、磯崎議員は自民党若手議員を牽引する一員として、古くなった自民党の改革を目指し「団結・結束」に積極的に取り組んでおられます。また、磯崎議員は、昨年10月に、参議院国会対策副委員長に抜てきされ、若くして、異例の要職に出世されました。これからは、中堅・若手議員のリーダーとして、また取りまとめ役としても、大いに活躍されることと期待しています。

激務の国会勤めの合間には、必ず大分県の各地域で、国政報告を始め、様々な活動を通じて、県民の声に同じ目線で接している姿を、磯崎議員のメルマガで拝受しています。すごい行動力で、誠実に県民のための活動に取り組んでおられる姿には、感動もし、心から敬服しております。磯崎議員こそ正義感あふれ、政治家としてのあるべき姿であり、国民が一番望んでいる政治家像ではないでしょうか。これからは更に研さんを積み重ねて、意志を曲げない、強い信念を持って、我が国のお役に立つよう、一層がんばっていただきたいと思っております。

小形さんプロフィール

杵築市出身、杵築高等学校、明治大学を経て明電舎に入社、故重宗雄三参議院議長秘書、関係会社役員等を歴任、現在(株)マトリックス顧問
在京大分県人会評議会元副会長、在京杵築市人会会長ほか

国会豆知識 つるし

国会には、一般の人が聞きなれない様々な用語があります。「つるし」も、その一つです。国会に議案が提出されると、委員会での質疑、採決を経て、本会議で採決されますが、どの法案から審議するかは、与野党間の協議で決まります。野党が、法案審議を遅らせるため、本会議での趣旨説明を要求し、その間委員会での審議入りに応じないことがあります。このような手法で議案を宙に浮いた状態にしておくことを「つるし」といいます。また、与野党間で話が付き、審議が始まることを「つるしを下ろす」といいます。

民主党の小沢幹事長の元秘書だった石川知裕衆議院議員が、政治資金規正法違反で2月4日に起訴されました。これを受けて、自民党、公明党、みんなの党の野党3党で、石川被告への議員辞職勧告決議案を衆議院に提出しました。ところが、その決議案の扱いについて、民主党の山岡国対委員長は、「石川議員が、秘書のときの問題であって国会議員としての問題ではな

いから、審議するにはあたらない。つるしたままにしておく。」と、同党の国対委員会で平然と言っていました。自民党は、再三採決に応じるよう申し入れましたが、依然として決議案はつるされたままです。これは、与党の話であり、本来の「つるし」ではありませんが、与党は多数をもって議案を本会議にかけないことができます。

これまでも、何度か議員辞職勧告決議案が国会に提出されました。しかし、正当な理由もなしに会議に付さず審議されないということは、異例なことです。政権交代したからといって、数の力で議会運営を専横していいわけではありません。

石川議員は、その後、民主党を離党したものの、依然として議員の座にあります。民主党では、「政治と金」の問題に対して鳩山総理、小沢幹事長始めだれも責任を取ろうとしません。こんなことでは、日本の民主主義は崩壊してしまいます。

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>
携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。メルマガ会員も、募集しています。



対談

「自治会活動」

春日校区自治委員協議会長 荒金 一義

参議院議員 磯崎 陽輔



荒金さん御夫妻と

(磯崎) 今日、自治会活動についてお話を伺います。昔と比べて最近の自治会活動に何か変化がありましたか。

(荒金) 自治会活動に対する興味が薄れてきたように思います。特に若い世代にその傾向が見られます。

(磯崎) 何が原因ですか。

(荒金) 現代は、スピードが速すぎて皆疲れているのではないのでしょうか。忙しすぎて自分のことだけで精一杯なのだと思います。それが、個人主義に走らせている理由だと思います。

(磯崎) 昔は、お互いに助け合わなければ生きていけないという時代背景がありましたが、現在では、携帯電話やパソコン、コンビニの普及によって他人に頼らなくてもそれほど困らなくなっています。便利になりすぎたがゆえに個人主義を助長しているのかもしれませんが。

(荒金) 住宅環境の変化も、要因の一つにあげられます。この地域でもマンションが増えてきましたが、マンションの場合は、どうしても交流はマンション内に限られてしまい、地域へ目が向きにくいようです。随分前の話になりますが、この地域でマンション火災が発生しました。火災は本当にお気の毒でしたが、火災時に地域の人が力を合わせて支援に当たったことで、地域が連携することの大切さを改めて認識するきっかけになりました。それまで余り自治会活動に興味を持っていなかった方が「自治会長さんのお宅はこちらですか」と訪ねてくれるようになりました。

(磯崎) 個人主義が強まる一方で、数年前には昭和30年代をモチーフにした映画が大ヒットしました。これは当時の人々が助け合って生きていく姿に若い世代の方も共感したからでしょう。何かきっかけがあれば、すっとなじんでいくのかもしれないですね。

(荒金) 自治会活動を一所懸命やっている我々世代の元気がよすぎて、若者の出番がないのかもしれない。いずれある程度の年齢に達したら自然と自治会活動に積極的に参加してくれるのではないかという気がします。無理をせず、気負わず、それぞれの世代が、その時にできることをやる。そういうスタンスでいいのではないかと思います。

(磯崎) 核家族化が進み、お年寄りの一人暮らしが増えています。まずは一人でがんばるという自助、国が支える公助、そしてその間に自治会やNPO活動を通じて行われる共助があります。私はこれからの高齢化社会を支える上で、お年寄りを孤独にさせないためにも、この共助が非常に重要になってくると思います。

(荒金) 遠くの親戚より近くの他人と言いますが、私も自治会がそういう役割を担ってほしいと思っています。数年前から春日校区全体のお祭りとして春日まつりを催しています。これは、校区内の自治会、社協・民生委員・青少協などの各団体が中心となって行う手づくりのお祭りです。このお祭りを始めたのは、各地域の団体がどういった活動をしているのか多くの方に知ってもらいたいということと、世代を問わず気軽に参加できる場を設け、地域交流の輪を拡げたいということからです。例年子供からお年寄りまでおよそ1600人の方が足を運んでくださっています。皆さん、顔なじみが増えたと喜んでくれています。

(磯崎) 春日まつりのほかにはどのような行事を催されていますか。

(荒金) 南春日町内会では、住吉川の一斉清掃、供養盆踊り大会、防災訓練、餅つき大会、小旅行などだいたい3か月ごとに行事を設けて親睦を深めています。

(磯崎) 南春日町は、自治会活動がとてもうまくいっているという印象を受けますが、何か問題点はありますか。

(荒金) 昨年待望の南春日町公民館がようやく出来上がりました。以前は町内の皆さんが一堂に集まる場所がなく苦労しました。拠点となる場所を持つことは大切ですが、まだ活動の拠点を持っていない地区がたくさんあります。この点が解消されれば、より自治会活動は活発化すると思います。

(磯崎) 人生を最後まで楽しむためには、やはり人と人との絆は大切です。そういう意味においても自治会の担う役割は、今後ますます大きくなると思いますので、引き続き、御尽力ください。

新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。
<http://www.17.ocn.ne.jp/~isozaki/>
 携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。



宇佐市消防出初式



松岡保育園の子供たちと



大分市内で街宣



早吸日女神社ふじ祭り



玖珠町童話祭の開式で



日出町ミニ集会



別府市の火災現場を視察



本会議質疑



いそぎ陽輔新風会・いそぎ陽輔東京後援会御入会のお願い

儀崎陽輔の活動を応援して下さる方、是非御入会をお願いします。

入会については、下記にお問い合わせください。

■いそぎ陽輔新風会 (TEL 097-535-8260)

ホームページからのお申し込みもできます。年会費は、1,000円です。下記郵便局の口座まで、お振り込みください。

口座番号 01730-4- 118483 加入者名/いそぎ陽輔新風会

■いそぎ陽輔東京後援会 (TEL 03-3508-8610)

年会費は、一口2,000円です。下記郵便局の口座までお振り込みください。

口座番号 00100-1- 743291 加入者名/いそぎ陽輔東京後援会